



令和3年度 第4回地域協議会は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため 書面表決となりました（令和3年8月17日開催予定でした）

【書面協議内容】以下のことについて、書面表決していただきました。

■令和3年度地域コミュニティ活動交付金事業申請及び意見書（案）について

まちづくり推進委員会から、以下の2事業が提案され、事業実施に際する意見を付して、同意されましたが、新型コロナウイルスの関係で、後日、2事業とも中止となりました。

事業名	事業への意見
1 昔の遊びと ニュースポーツに挑戦事業 (11年目) 事業費 40,000円	昔の遊びを通じて異世代交流を深め、子ども達が日本の文化に触れる貴重な事業なので、今後も是非、継続していただきたい。
2 大塚町体育祭共催事業 (11年目) 事業費752,000円	地域住民同士の親睦が深まり、絆づくりが図られるように、本年度も連合自治会と大塚地区体育会が連携を密にして、体育祭を盛り上げていただきたい。



令和3年度 第5回地域協議会が開催されました【令和3年10月19日(火)19:00~】 新型コロナウイルス感染防止を行い実施しました

【主な会議内容】以下のことについて話し合いが行われました。

■令和3年度地域コミュニティ活動交付金事業申請及び意見書（案）について

まちづくり推進委員会から「健康づくり共催事業」が提案され、以下の意見を付して、承認されました。

事業名	事業への意見
1 健康づくり共催事業 (5年目) 事業費 25,000円	これからのまちづくりには、共催事業が必須と思うので、今回の社会福祉協議会との共催事業を手始めとして、これからもまちづくり推進委員会と社会福祉協議会、民生委員・児童委員協議会などの福祉に係る団体が連携を密にして、積極的に共催事業を展開してほしい。



■大塚地域協議会の構成団体が抱える課題について

地域協議会の一番大きな役割は、地域の課題の解決であり、解決には至らなくても対応策を協議し模索することは大変重要なことです。そこで昨年度から、その手始めとして、大塚地域協議会を構成している14団体が抱える課題を挙げてもらい、「共通課題ベスト3」の解決策の模索をオブザーバーも地域事務所も参加するフリートークの形で始めました。

解決策を模索する課題は、「①団体会員の減少・高齢化」「②後継者不足」「③連携」の3つです。これまでに地域協議会で出された対応策（案）を前回に引き続き、紹介します。住民の皆さんも良い対応策がありましたら、遠慮なく地域事務所へご一報ください。

課題	課題として挙げた団体
① 団体会員の減少・高齢化	①自治会連合会 ②さんさんクラブ ③消防団大淀分団第3部 ④民生委員・児童委員協議会 ⑤体育会 ⑥福祉協力員協議会 ⑦社会福祉協議会 ⑧青少年育成協議会 ⑨江南小校区子ども会育成連絡協議会 ⑩大塚小校区子ども会育成連絡協議会

自治会連合会の対応策（案）【裏面へつづく】

- ◆ 近所付き合いの手段を考える必要がある。
- ◆ 若い世代、子どもをターゲットにすべきでは。
- ◆ 新しい住宅ができれば、建築中から足を運び、業者とも話して自治会に入るよう勧誘した。

自治会連合会の対応策(案)【表面からの続き】



- ◆ 防犯灯の維持に経費がかかる。未加入の人は知らないで、じっくり話していく。
- ◆ 会費の使途とか、班長心得とか自治会で作成して、配付してはどうか。
- ◆ 自治会費は高くないし、色々な情報が入ってくるので、メリットがあると思う。PTAや子ども会の集まりなどで自治会の魅力を伝えていかななくてはならない。例えば、PTA総会の後などにアピールする機会をつくってはどうか。
- ◆ 若い世代は声かけすれば、手伝ってくれる。声かけを待っているところもある。
- ◆ 数年前、子ども達の親達がどうしたら加入してくれるかを考えていた時、思いついたのが「エイサー」だった。子ども達が来れば、父兄も来る。
- ◆ 新築があれば、建築現場に向いて、加入促進するなど、子ども会から攻めて、18軒自治会に入ってもらった。どちらかと言うと、高齢者の方が難しい。
- ◆ 子ども会を通して、防災訓練を募ったら、その日のうちに78人の参加があった。

若い世代は、自治会には加入していなくても、単位子ども会(子連協)や大塚中PTA(地区部、健全育成部)や祭り大塚振興会等には加入している方も結構いらっしゃると思うので、そのような団体と自治会で茶話会みたいな話し合いの場を持ち、それぞれの考えを述べ合い、どうなれば自治会に入るかなど、知恵を出し合い、模索する。

消防団大塚分団第3部の対応策(案)

- ◆ 消防団員は、通年、募集していると思うが、応募者は中々いないと思うので、現団員の交友関係、人脈をフル活用して入団してもらおう。
- ◆ 去年、大学生が入ってくれた。今年卒業し、就職したが、今も頑張ってくれているので、大学生にもっと消防団のことを知ってもらい、入団者が増えると良いと思う。
- ◆ 今はコロナで出来ないが、地域の祭りや運動会とか住民の方が集まる機会に、消防団の活動内容をアピールしてはどうか。
- ◆ 防災訓練の時も消防団の方が見えるが、団員の勧誘とかされずに帰られるので、積極的に勧誘されたらどうか。
- ◆ 各自治会の青年部員を増やし、確保していきながら、青年部と消防団が連携して消防団に入ってもらいたくのも良いと思う。
- ◆ 若い世代の人たちとの個の連携、関係づくりも大事だと思う。
- ◆ 台風の時には、水が出る所はないかとか、崩土はないかとか、見て回っている。この前の日曜日は、規律訓練があり、第3部は大塚分団の中で優勝している。このように、気合いの入った活動をしているが、消防団のイメージが、飲み方ばかりのイメージであったり、取っつきにくい部分もあるかもしれないので、活動内容をPRしながら、若い人たちを勧誘していきたい。
- ◆ 宮崎大学の中に消防活動をするところがあるので、そこの学生たちも勧誘していきたい。
- ◆ 消防署と消防団があるが、それぞれの役割が明確になっていない気がするので、若い人たちにその役割を説明し、勧誘していく動きが必要だと思う。まずは、消防団の役割を理解してもらうことが大事だと思う。
- ◆ 自衛官OBは、消防団に非常に興味があり、みんなどこかの消防団に入っているとのことであった。大塚の自衛官OBの方のことを尋ねたら、自衛官退職者の事務をしている所に聞くと早いとのことであった。
- ◆ 誰でも出来る訳ではないので、どこで、いつ、誰にアピールするかを絞ってアプローチすれば良いと思う。

大塚地域協議会では、次期地域協議会委員の公募委員を募集しています！

大塚地域協議会は、大塚地域のまちづくりに住民の声を反映させて、住民主体のまちづくりを進めるなかで、地域の団体と連携して、地域課題を解決するために会議や取り組みを行っています。

募集する公募委員は3名です。

大塚地域(大塚町・江南1~4丁目)に住所を有する方で住民主体のまちづくりに積極的に参画していただける方の応募をお待ちしています。

【応募方法】大塚地域事務所、大塚公民館にある応募用紙(市のホームページからもダウンロード可)に必要事項を記入し、郵送又は持参により大塚地域事務所まで提出して下さい。

【応募期間】令和3年12月1日(水)~令和4年1月14日(金)必着

※募集についての詳細は、大塚地域事務所(電話:54-2222)までお尋ねください。

発行:宮崎市地域振興部 地域コミュニティ課 大塚地域事務所
TEL:54-2222 住所:宮崎市大塚町鎌ヶ迫2296-3(大塚中学校となり)
FAX:64-0270 メールアドレス:07otuka-c@city.miyazaki.miyazaki.jp